

洲本地区だより No.32

平成 18 年 8 月 29 日
洋友会 洲本地区(事務所)
TEL&FAX 0799-23-9702
電話は火・木曜日午前中

歓迎！ 新しい会員、4名の加入がありました。(総会員数 79名)

松尾 節夫さん (最終職場：(社)電池工業会)

- ・少し早いですが、親の看護の為東京で勤務終了と致しました。政府や海外業界対応の未経験の業務でしたが、皆様のお陰で大変面白く過ごさせて戴きました。
- ・環境は全く変わりますが、これからの新たな道創りに密かに意欲を燃やしているところです。この度は洋友会に参加させて戴き有難うございます。諸先輩皆様方には、何かとお世話になります但よろしくお願い申し上げます(5月20日退職)。

古岡 久男さん (最終職場：SEC 南淡株式会社)

- ・昭和 40 年 4 月に洲本工場に入社し、41年間勤務させていただき、7月に定年退職致しました。その間、良き上司、先輩、同僚の皆さんに支えられ勤務できた事を感謝しています。このたび、洋友会に入会させて戴く事になりました。
- ・今後も色々な面でご指導願います。これからは、ゆっくり旅行もしてみたいと思っています。何事もあせらず毎日を過ごしたいと思います。地域活動にも参加できるようにと考えています。

山口 幸雄さん (最終職場：モバイルエナジーカンパニー カドニカ検査課(宇宙))

- ・本年の 7 月 20 日付けで定年退職を致しました。現在、健康増進に必要なウォーキングやスポーツクラブで活動する一方、地域の高齢者に対する支援活動の立上げ等に関心を持ち、鋭意取り組んでいます。今回洋友会に加入させて戴き、活動の幅を広げていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

岡村 賢一さん (最終職場：モバイルエナジーカンパニー 法務・知的財産部)

- ・7月20日付けで定年退職を致しました。退職後は縁あって知的財産関係で、8月より徳島大学で週2日、また9月から三洋ジエソフトエナジ(株)に週2日勤務の予定です。勤務日以外は、第2の人生を大いに楽しみたいと考えており、趣味は、ゴルフ、麻雀ですのでよろしくお願い致します。

秋の、のじぎく兵庫国体にボランティア活動で協力！

- この秋、兵庫県で50年ぶりに「のじぎく国体」が開催されますが、洲本市では「成年女子9人制バレーボール競技」が市の文化体育館で行われます。
- 洲本地区・洋友会では、国体運営のボランティア活動に参加する事となり、次の内容を担当することになりました。皆様のご協力をよろしくお願い致します。
 - ・ 期 間：10月1日(日)から10月4日(水)
 - ・ 役 割：総務部門の会場施設班に属して、活動する
- なお、競技に先立ち9月23日には、聖火リレーが行われます。地区会員である山口正義さんも走者の一人として出場しますので、併せて応援をよろしくお願い致します。

洲本地区のホームページを開設します！

- 念願の洲本地区・洋友会のホームページが、9月中にスタートします。地区会員による日頃の親睦活動や会員の情報紹介によって、コミュニケーションを深めていきますが、一方、現役の社員に対しても現在の活動を詳しく紹介し、魅力を見出してもらった上で、新規会員の入会促進が出来ればということを目指しています。
- また、全国の洋友会会員の活動を知る事により、それぞれ新たな出会いや知識を得る事ができます。
- ホームページは常に新しい情報の紹介が必要です。各クラブに対しては、都度活動状況の報告をお願いしていますが、会員の皆様も開設の主旨を理解戴いて、投稿をお願い致します。

既に参加率28%で、264万円の協力に感謝！

- ・洋友会 SUPPORT SANYO(サポート・サンヨー)運動は、7月末現在で参加率が28%となり、金額は264万円に至りました。有難うございました。
- ・運動は来年3/末迄ですが、引き続き早期の協力をお願い致します。
- ・購入結果は所定の用紙で、洲本地区・洋友会事務所へお知らせ下さい。
(Tel&Fax:0799-23-9702 E-mail: yoyu-sumoto@sky.sannet.ne.jp)

お願い

- 「洲本地区だより」へのメッセージや投稿を受け付けております。
 - ・我が家の宝物や家族の自慢、或いは日常生活で得た感動経験等。
 - ・笑顔の写真も添えて、お願いします。
- 本部会報誌「洋友」への投稿をお願いします。
 - ・テーマは生活改善や健康の工夫、並びに心温まる出来事等
 - ・文字数は400-2000字で、写真等の資料を添えて。
 - ・パソコンで作成される場合は、フロッピーも添えて。

お知らせ

- 洲本地区の事務所には下記の役員が詰めております。ご要望や相談のあるときはどうぞお越し下さい。(毎週火曜日と木曜日の午前中: Tel/Fax:0799-23-9702)

9/05	萩野・川野	9/07	役員会	9/12	山口(正)・ 山口(喜)・伊藤	9/14	阿部・藤本
9/19	吉井・橋本	9/21	青海・廣瀬	9/26	近藤・橋本	9/28	小西(直)・山崎
10/03	近藤・川野	10/05	お休み	10/10	役員会	10/17	山口(正)・山口(喜)
10/19	青海・廣瀬	10/24	吉井・橋本	10/26	阿部・藤本	10/31	小西(直)・山崎

クラブ便り



<洲本地区会員を中心とした親睦コンペの参加者>

(ゴルフ部・原下 正信さん記)

第7回5地区の親睦ゴルフコンペが、岡山のサンフォレスト・ゴルフクラブで7月末に行われました。例年5月開催でいつも雨に祟られていたのが、今年は時期をずらしましたが、やはり雨に遭ってしまいました。

それもビックリするような夕立で、約1時間近く中断となる豪雨でした。近くに雷が落ち、停電になるくらいの雷雨で恐ろしい目に逢ってきました。そのような事と又皆さんお年で暑さにもバテ、この時期は無理と判断し、来年から実施時期を変更する予定です。さて、今回

は洲本地区の参加者は8名でした。京阪地区から、元洲本工場に勤務されていた川口忠士さん(シングルプレーヤ)も参加され、同じ組になり、豪雨のせいかな？私が優勝し、川口さんが準優勝となりました。二日目も洲本地区・萩野さんが優勝を獲得し、本地区が多数賞品を得ました。暑い時期ではありましたが、心地よい気分となり実りあるコンペでした。

会員投稿 熊野古道をあゆむ

(廣瀬 収さん記)

そろそろ入梅かと思われる6月初旬、一泊二日で熊野古道に行ってきました。熊野古道は京から紀伊半島を西回りする紀路、伊勢から東回りする伊勢路、吉野から半島中央部を南下する大峯路などいく筋かのコースがあります。さらに歩く道と林道が併走している所が多く、林道を走る路線バスを利用することで、ルートの途中からでも歩き始められるので、体力と時間と相談して歩けそうな所を選べます。

今回は、初心者コースの中で、美しい石畳が尾鷲ヒノキの木々の中に続くことで有名な伊勢路・馬越峠コースを選びました。峠は標高325mですので、448mの先山に登れる体力があれば大丈夫と出発前に何度か先山登りでトレーニング。

参加者7名が1台の車で、朝5時半に洲本を出発。早い出発だったので、大阪の通勤渋滞にも巻き込まれず、松原JCTから西名阪自動車道、名阪国道から伊勢自動車道へ。



今春開通した大宮大台ICまで、280Kmを休憩時間も含め4時間で走破。そこから国道42号線を1時間ほど南に走り、尾鷲市の手前にある道の駅“海山(みやま)”へ。ここで昼食をとってから、車はそのまま残し、歩いて馬越峠に向かう。10分で登り口の“鷲毛(わしげ)”に到着(写真左)。石畳は石の階段ではなく、坂道にそって大石が傾いて敷かれているので、歩くにはコツが必要。

上り坂と平坦な道が交互に出てくるように登り道が作られていて、先人の知恵を感じる。手入れされたヒノキ林の中に続いている石畳は、“古道を歩いているな”と実感させてくれる（写真右）。

登り1時間で峠に、小休止してビールを頂く。南側に尾鷲市街が開けて見えた。登りと反対側に降りる尾鷲市街へ続く峠道も、見事な石畳道。南斜面で日当たりが良いのと、登ってきた峠の頂上近くは自然林を通る部分が多いので、海山側からの道とは雰囲気随分違っていた。人気コースなのだが、梅雨時期・平日であったからか、お会いしたのは愛知県から来たおばちゃん2人のパーティーだけだった。

尾鷲まで下り、路線バスで駐車した道の駅まで2名が戻り、残りのメンバーは尾鷲市内を散策。駅前ピックアップして、今夜の宿舎・休暇村南紀勝浦まで1時間半、美しい海岸線をドライブ。途中新宮市で熊野速玉大社に参拝。宿でクジラ料理もいただく。

二日目：夜半来の大雨も朝9時には上がり、宿から30分ほどで那智の滝へ。駐車場から石段を降りて滝壺に向かう。原生林の中を133mの高さから、轟音と共に飛沫を上げながら落下する様子は荘厳な気持ちさせてくれる。銚子口の上に張られた注連縄（しめなわ）をご利益をと祈願しながら仰ぎ見る。滝のしぶきにふれると延命長寿の

霊験があるそうだ。

滝をあとにして、石畳の続く大門坂コースを登り、熊野那智大社と青岸渡寺へ。那智の滝を見下ろせる高台にあり、見上げて見た滝とは異なる景観に感激（写真左）。

そこから、昼食時間も入れてほぼ2時間で熊野本宮大社へ。これで熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）を回れた。158段の石段を登った先で目に入った菊の御紋が印象的、平日にもかかわらずたいそうな人ごみだった（写真下）。帰路は、熊野古道・紀路



のひとつ・中辺路コースを逆に走りながら、ポイントで車を止め、近辺を少し散策し古道の雰囲気を味わう。コース入口の滝尻にある熊野古道館で古道の歴史などを学び、コーヒーをいただく。田辺を過ぎ“みなべ”から阪和自動車道に入り、1時間ちょっとで“上之郷”へ。何人乗っても7千円の割引券をインターネットで入手していたので、帰りは泉佐野からフェリーで、洲本着20時。紀伊半島をほぼ一周する今回の旅・総走行距離650Km、一人当たり費用約1万5千円。充実した2日間でした。山の配色の異なる秋にまた訪れたいな！と考えています。（了）

